

浄瑠璃に行こう!



『エディット・ピアフ物語』

ライブ版

édith 愛の讃歌

Piaf

story ライブ版

本邦初演のライブ版

浄瑠璃に行こう!『エディットピアフ物語』

講談×浄瑠璃人形×シャンソン×フレンチジャズによる奇跡のコラボレーションがライブハウスでの作品として実現!

大阪が生んだ伝統芸能「文楽」の精神を受け継ぎ、新たな人形浄瑠璃の表現の可能性を求めて、4つのジャンルの違う表現形態が「エディットピアフの人生」というテーマを共有しコラボレーションという即興的要素が重なり合うスリングで緊張感あふれる手法で物語が展開していく。古典とは一味違う人形浄瑠璃をライブハウスでお気軽に楽しんでいただける作品となりました。

料金: ¥4,200税別

会場: 道頓堀ZAZA 中座くだおれビルB1

日時: 平成28年1月31日(日)

昼公演: 開場/13:30 開演/14:00

夜公演: 開場/17:00 開演/17:30

チケット販売: イープラス、ファミリーマート



〒542-0071 大阪市中央区道頓堀1-7-21 中座くだおれビルB1



エディット・ピアフ



ピアフ幼少期



ピアフの父ルイス



マルセル・セルタン



テオ・サラボ

主催: 隼メディアゾーンジャパン・NAN-KAN PROJECT お問い合わせ: TEL.06-6366-0771 info@Kubel.co.jp 協力: アドリエ・ワリ, Kミュージック
後援: 大阪日仏協会、ミナまち育てネットワーク cast: 浄瑠璃人形「勘緑&木偶舎」 講談「旭堂南陽」 演奏「ZaZa avec Café Manouche」 ZaZa/ボーカル
・川瀬眞司/マカフェリギター&バンジョー・中村尚美/コントラバス With かどうかなこ/ボタンアコーディオン

*この催事は大阪魅力満喫キャンペーンの一環として国からの助成(別途2800円)を受け、企画面、演出内容やステージ関係の充実を図りました。



文楽人形遣い 勘緑

1955年徳島県池田町生まれ。元(財)文楽協会技芸員、人形座「木偶舎」主宰。早稲田大学で演劇を学び、中退後1977年文楽の世界に飛び込む。1979年二世桐竹勘十郎(人間国宝・故人)に入門。1987年から三世吉田襄助(人間国宝)に師事する。人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、2012年1月、33年間在籍した文楽座を辞しフリーの文楽人形遣いとなる。主宰する「木偶舎」では、各地で自然との融合や他ジャンルの音楽・演劇との接点を求めた文楽人形の可能性を追求し、劇場の枠を越えた独自の野外劇場を企画・演出してきた。また文楽の新作の脚本・演出も手掛け話題を呼んだ。主な作品は「母情落日斧」「化身恋終焉」。2012年9月音楽と伝統芸能とのコラボレーションとなる音楽人形劇「新釈姥捨山」を発表。2013年5月には人形とバレエが融合した作品「ペトルーシユカと私」に参加した。一方全国各地の人形芝居の指導・演出や、徳島県の農村舞台復活にも積極的に取り組んでいる。「勘緑塾」という、三人遣い人形の基本操作を習得するための教室を、徳島市・福岡市で開塾。今後大阪市、東京都でも開塾を予定し、プロのみならず、アマチュアの文楽人形遣いも養成している。

2007年国民文化祭劇場部門・2009年阿波人形浄瑠璃100公演コーディネーター、越後妻有大地の芸術祭専任アーティスト、首都大学東京非常勤講師、2009年徳島新聞文化賞受賞。



講演師 旭堂南陽

講演の事を何も知らない司法浪人時代に「講演師も弁護士も最後にし」がついているから一緒にという師匠の一言で講演師になった変わり種!! 英語、スウェーデン語などを使いこなす国際派講演師。ジャズ講演など音楽とのコラボレーションも大好評!

1993年~1994年スウェーデンへ交換留学(ROTARY交換留学プログラム)。ストックホルムでのノーベル賞授賞式に参加。2000年大阪市立大学 法学部卒業。2001年11月、旭堂小南陵(現:四代目南陵)に入門。2004年4月ブラジルにて【ポルトガル語講演】、7月アメリカ・ボストンにて【英語講演】を実施。この模様はNHK「what's on Japan」にて全世界に放映された。また、2008年10月ブルガリア、2009年7月中国・上海【中国語講演】でも海外公演を行う。2010年4月宮崎県・都城市特派大使就任。2012年6月【講演×シャンソン】、2014年5月【音楽劇シンデレラ】をスタートさせた。現在、大阪日日新聞「旭堂南陽のブラリ講演 歴史あるき」(毎週土曜日)、FM COCOLO MAGAZINE「JAZZと講演とボク」を連載中。



ZaZa (シャンソン歌手)

'97年から1年半にわたってラジオ関西のシャンソン番組「愛のシャンソン」にレギュラー出演。'05年1月に1stCD「Un jour」を発表。同年7月にNHK大阪ホールで「わたしたち大阪バリエ」を主催。ZaZa avec Cafe ManoucheとしてCD5枚を発表。最近ではフランスを始めヨーロッパ圏からも高く評価を得、2010年1月23日、ドイツのトリコントレーベルよりシャンゴラインハルトの影を受けたミュージシャンを集めて作られたコンピレーションCD「Djangos Spirit」にアジアを代表する歌手として選ばれ世界デビュー。



かとうかなこ(クロマチック・アコーディオン)

4歳から親の手ほどきを受けアコーディオンを始め、17歳にしてアコーディオンコンクール総合優勝を果たす。高校卒業後フランスに渡り、4年の留学中「全仏コンクール」でも第1位を獲得。現在は全国各地でのコンサート活動や、ソロアルバムを5枚リリースし、テレビ番組で数多く取り上げられている。80歳を過ぎても演奏し続ける事が目標。楽器たちには、愛称をつけステージでもメンバーとして紹介している。自らの感情を委ねるように、蛇腹と呼吸を合わせながら風景の浮かぶ演奏を続けている。



川瀬真司(かわせ しんじ)ギタリスト・音楽プロデューサー

2001年よりパリを中心にライブコンサート経験を積みながら、2003年映画「僕のスイング」関西記念ライブ「ピエール・バルレー」アコーディオニスト「かとうかなこ」フランス・サラヴァレーベルよりCDをワールドリリースした『かすみとまや』、「パトリック・ヌジェ」、歌手「松田美緒」のコンサートサポート。「谷川賢作Longing」のメンバーとして、2008年「赤毛のアン」に出演。Minami Jazz Walkのステージプロデューサーを手がける。本公演ではテーマ作曲・音楽担当する。Cafe Manouche主宰の他、音楽プロデューサー・レコーディング・舞台音楽と、幅広く活躍中。



中村尚美(なかむら なおみ)コントラバス

1997年阪神大震災の復興を願うCD「Dusk&Dawn」。1999年NY国連本部・2000年東京ユニセフハウスオープニングに皇太子殿下・雅子様の前で招待演奏。2001年よりパリを中心にライブ、2003年、映画「僕のスイング」関西記念ライブ・2004年韓国「ソウルドラムフェスティバル」・2005年4月上海市衛星放送「東方衛視」と関テレとの番組「花開東方」出演。CD「うさぎのラビット」リーダーバンド Mon chuchu よりCD発表。女性6人のユニットで、「THE JAZZ LADY」として1stCD発表。Cafe Manouche レギュラーベーシストの他ジャズベーシストとして活躍中。

édith 愛の讃歌

Piaf

story

ライブ版